

東日本大震災における 復興記念公園を考えるシンポジウム

主催 国土交通省東北地方整備局

東日本大震災から4年、多くの被災地で犠牲者への追悼と鎮魂、記憶と教訓の伝承等の場となる復興記念公園が計画されており、特に甚大な被害を受けた宮城県石巻市と岩手県陸前高田市では、国営追悼・記念施設(仮称)を含む復興記念公園の計画が検討されています。

今回のシンポジウムでは、宮城県、岩手県それぞれの復興記念公園に関する基調講演やパネルディスカッションを行い、復興記念公園のあり方を多様な視点から議論します。

開催

- 日時 平成27年3月14日(土) 17:20~19:40
- 会場 仙台市シルバーセンター 7階 第1研修室
(宮城県仙台市青葉区花京院1丁目3-2)
※事前申込不要(入場無料) 定員150名

プログラム

■ 基調講演

『石巻市南浜地区における復興記念公園について』

涌井 史郎(雅之) (東京都市大学教授)

『陸前高田市高田松原地区における復興記念公園について』

中井 検裕 (東京工業大学教授)

■ パネルディスカッション

『復興記念公園の意義と目指すべき方向性について』

- コーディネーター 涌井 史郎(雅之) (東京都市大学教授)
- パネリスト 赤坂 憲雄 (学習院大学教授)
- 阿部 聡史 (環境デザイナー)
- 牛尾 陽子 (東北活性化研究センター フェロー)
- 岡本 翔馬 (桜ライン311代表)
- 中井 検裕 (東京工業大学教授)

※敬称略・五十音順

問い合わせ先

E-mail memorial_park@docon.jp

事務局 ドーコン・オオバ・愛植物設計事務所設計共同体 (担当: 藤井)

電話 011-801-1535 FAX 011-801-1536



国土交通省東北地方整備局

国土交通省東北地方整備局は第3回国連防災世界会議を支援しています。

復興祈念公園について

平成 26 年 10 月、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、国営追悼・祈念施設（仮称）を岩手県と宮城県に設置することが閣議決定されました。これに基づき、地方公共団体が陸前高田市高田松原地区と石巻市南浜地区に整備する復興祈念公園の中に、国が中核的施設となる丘や広場等を平成 32 年度末を目途に整備する予定です。



高田松原津波復興祈念公園（岩手県陸前高田市）

岩手県内で最大の被害のあった陸前高田市。高田松原の約 7 万本の松の中で 1 本だけ津波から耐え抜いた「奇跡の一本松」があり、多くの人が訪れています。現在、高田松原津波復興祈念公園の整備が計画されています。



▲奇跡の一本松

石巻市南浜地区復興祈念公園（仮称）（宮城県石巻市）

宮城県内で最大の被災地となった石巻市。住宅地であった南浜地区は地震、津波、火災、そして地盤沈下により甚大な被害を受けました。現在、追悼と鎮魂、教訓の伝承の場となる祈念公園の整備が計画されています。



▲海から見た公園予定地

【復興祈念公園に関する最新情報】

東北地方整備局ホームページ (<http://www.thr.mlit.go.jp/>) の **復興祈念公園** バナーをクリックして下さい。

講演者の紹介

涌井 史郎（雅之）

造園家・ランドスケープアーキテクト

1945 年神奈川県生まれ

東京都市大学環境学部 教授

「愛・地球博」（2005 年）会場演出総合プロデューサー

国連生物多様性の 10 年委員会委員長代理、首都高大

規模改修検討委員長などを歴任

宮城県における復興祈念公園 有識者委員会 委員長

中井 検裕

博士（工学）

1958 年大阪府生まれ

東京工業大学大学院 社会理工学研究科 教授

1986 年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程満期退学後、

東京大学教養学部助手、東京工業大学工学部助教授等を経て、

2002 年より現職

岩手県における復興祈念公園 有識者委員会 委員長

会場へのアクセス

【会 場】

仙台市シルバーセンター 7階 第1研修室
(宮城県仙台市青葉区花京院1丁目3-2)

【アクセス】

- ・JR 仙台駅西口から徒歩約 8 分
- ・地下鉄仙台駅・広瀬通駅から徒歩約 8 分
- ・花京院シルバーセンター前バス停から徒歩約 3 分

※駐車場は収容台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用くださいますようお願い致します。

